

林業新聞

役員任命並に辞任

本部理事心得書記

全 團員

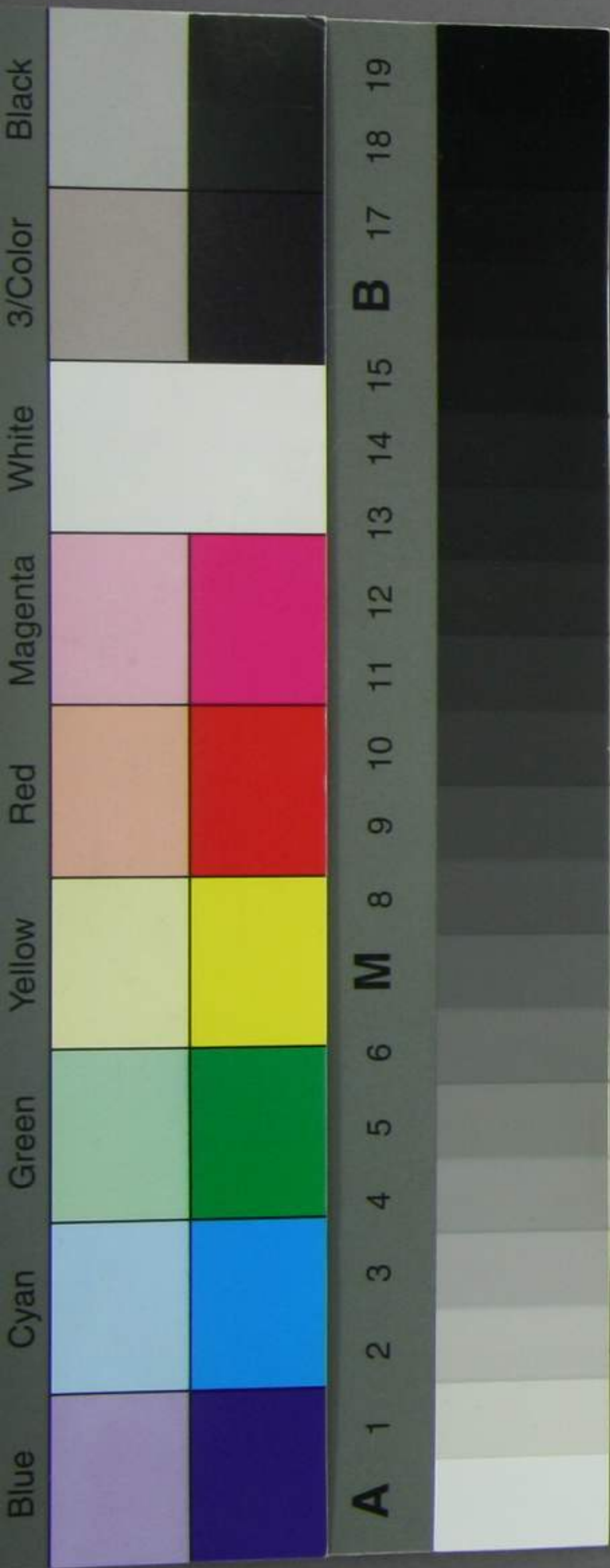
第九區 山長 横内 小長 心得
 第三區 副長 横内 本部理事
 第四區 書記 横内 團員
 第四區 出版 菅原 菅原 菅原 全
 京城支部長 横内 可
 京城支部長 横内 可
 京城支部長 横内 可
 元山支部長 横内 可
 元山支部長 横内 可
 全副議長 横内 可
 全副議長 横内 可

各大區報告欄

原口四郎
 田中友藏
 岩城平治
 松浦常太郎
 倉田敏助
 山下治夫
 山本好太郎
 中村再造
 山口兵衛
 海浦清弥
 伊藤伊吉
 石田信一郎
 中根猛
 大塚宗太郎
 竹野直郎

△九州南原關係報告前編

○風俗 對日本人感情 人情一般 狡猾傾巧
 他道人の鄙し然りと居る人々 團結 暖御人 念 富田
 亦尚武 風ヲ好む 殊ニ思想ノ致密ナルニ 執云 亦
 尙朝鮮ヲ好む 殊ニ非ガレシ日本人之
 對ニ感情ハ表面ハ兎角 裏面ヨリ 觀察スルハ
 大ニ厭忌ノ懷クモ、如シシニ 甲午ノ情態ヲ 自叙セ
 ガルニ 尤ラス 未幾 我國ノ 未龍衣ヲ 受ケシ所ニシテ
 且ツ 僻處ノ地ニシテ 蘭港以未 我國人ニ 接スルヲ 甚カ
 稀ニシテ 故ナラン
 ○地味 大豆 饒ニシテ 草木 能ク 蝦夷 蝦夷 耕作法
 地味ハ 肥料ヲ 施スノ 道ヲ 知ラス 斧 斤 時ヲ 山林ヲ 養
 フ、計ナシ 然レモ 山腹ニ 至ルニ 田圃 觀シテ 寸地ヲ 蘇
 カス 思フニ 將來 養蚕 蠶 牧 畜 自 其 地 方 有 望 ナ
 業ナラン
 ○立産物 主要ナルモノハ 麻布、水綿、紙、扇、油、紙、燭
 草ナル 刻外 新産物 炭、皮、葉ニシテ 白廣ク 全國ニ 輸
 送スルモノナリ 麻布 不綿ハ 其 産 物 夥シ 炭 比 之ヲ
 尙 葉ニシテ 又モ ナク 只 農 民 業 者 家 業ノ 餘 暇ヲ
 以テ 之ヲ 織リニ 三及乃 至 五六 尺 宛 推 巧ハ 市 日 相 集
 ムルニ 足ラズ 新産物ハ 其 日 厚 炭 大ニシテ 備モ 亦 産
 炭 皮ハ 狐狸 山狗ニシテ 田圃 自 秋 未 子ヨリ 仲 春ノ 候 於



捕獲賣買セリ製衣紙業ハ所々之ヲ管
 其技甚ク幼穉ナリ紙扇ハ全州特産
 前年ハ南原ヨリ多クはス煙草早ハ到ル所
 之ヲ産入傾斜最モ多クニシテ地質豊確ナル
 山腹ニ於テ之ヲ栽培ス
 ○本年米作ハ先ツ上作ニテ豊登等程ニシテ毎
 夜鐘本穀ヲ鳴ラシテ狂魚舟セリ頃日新米少
 シ死市場ニ現ハルハト共ニ周況モ大ニ活氣有
 ビタリ

△威鏡道於杆城俄也譯雜報

○当嶺東九郡ノ釀酒禁令ノ事ハ各月既ニ報告
 セリ所ナルガ近日至リ高城郡ニ於テハ他聞ヨリ米穀
 輸入ノ策解禁シタル由傳聞ス又江陵五周様間
 林茶ノ可シトノ噂アルモ信否未確而シテ各郡米穀
 釀酒禁令者アリテ到底一任傳令ヲ以テ林茶
 シ得バシトモ見ハズ又凶作トハハ口癖如ク言フ
 モ實際予言ニ比シ左程ノ不作ト想像シ難シ
 其農家ガ米穀騰價ト共ニ一般ニ米穀ノ需
 ヲシ之ガ爲ニ日買ノ細民ニ至テハ僅々四五升米ヲ得
 爲ノ近村ニ往シテ其買價ニ二三日ノ費サレテ
 ル有様ナルコト以テ茲ニ當嶺東賣買口ノ概ハ自然凶年
 ノ如クハシムルニ至リタル大ニ源原因ナラン
 此賣買景況ハ江陵ニテハ沙洞凡百倭注文津九ノ

△文三大区江日京並ニ黃山申事情

才三大区副長倉田敏助

○当区ニ於ケル清韓行商ノ經營 諸商ノ地地行
 商タル者田東全カク輸入ノ方ニ注キシハ已ニ報告スル
 一クナリシガ頃日我行同者ノ購買ニ鑑ミル所
 一ト見エ二種頑強ト取引ニ努メテ以テ我商
 一ト強クハニニ 俄等 千ヲ逐フニ致ナル實ニ我買
 出立固ニシテ騰差ヲラシムルモノアリ今又ハ方法ヲ記
 ストトナラン
 彼等ハ至夏初秋ニ際シ農民一般ニ金錢地底
 ヲ苦ケル時域ヲ見斗ヒ秋收和又ハ米ヲ取
 ル可ク約束シテ農家ニ應分ノ金錢ヲ前貸シ
 スルモノニテ彼等ノ板目ナキヲ收入ス可キ米穀價格
 固ヨリ非常ニ騰貴ナルニ至ラズ尚借主ヨリテ
 莫ク長ト連 累有レタル 諸商ニ交附セシメ居
 レバ以テ目下ハ買収米舟ニ彼等ノ手ニ自ナリ
 如新ノ妙策ヲ以テ對抗的取引ヲ爲スルノ傍ニ我
 商ハ心算ニ他ニ強固ト戰ハル可ク別行
 商ノ買収ニ奮登シテ近クハ京城米ヲハ京
 平運自運ノ行爲傲然巨買ヲ擁シテ盛ニ購入ニ

三百倭衣表陽・東津各五拾伍圓若九六十倭其外
 大津・東津津等モ多少運獲ルル由高城以下
 晒ナリ水内五日江陵郡等ヲ訪問シ農作盛
 僥其他談話ヲ試ミタルモ詳細何俟ノ報告詳
 リス
 ○賣部人行商者 京城買取出ニ注テ來ル同胞古
 門松之助福島縣人錢太力ノ郎(譯)ナルモ朝鮮ノ
 衣冠ヲ著ケテ而シテ露露ニ一見當國人ト田英ナラ
 ズ則下江陵ニテ匿スル者ニ從ヒ居リ同人ハ威鏡
 道ヲ過キテ露露人ニ見レト由テ自少
 子ハ當時者ト云フニ其他先住杉浦氏亦高買米
 ヲ以テ當地ニ行商ヲ試ミナリ

- 江陵市物價概略各々ナリ
- 金中三ノ 二母銀六百文 金 ASM 二母銀四百文
 - 全三ノ 二母銀六百文 全鷹銀二母銀五百文
 - 洋紗 六百文 石油一駄 三ノ三四文
 - 北島大一駄 八ノ三四文 倭六三系 二ノ二五文
 - 米一斗 二百文 夏冬米一斗凡一割五分界下
 - 塩一斗 六十文 馬 韓十里 八十文
 - 人夫 韓十里 七十文 木二一 百文

從事シツ、アリ彼等ハ一ニ組合ヲ以テ日本適合
 シ子形ノ船ヲ借切リ貨物轉送ヲ滿載シテ
 來リ搭載貨物ノ整ツ、否ヤ否ニ之ヲ六城若
 シクハ仁川ニ送ルモノ、由ニテ我買出行商者ヲ感
 倒セシムル勢ナリ若シモ買取ハシテ買取高價ノ
 魚眼ニ我手ニ存スルモノ、如キ運送想ヲ懷キ居ラン
 ニハハ則途賣買ノ商賣者慮ニ堪ハルモノナラン
 ○防設令ノ取説、四ヶ彼地防設令ヲ布ケ、四ヶ地
 地防設令ハハテニ撤回セラレトスト其説、防
 ヲリ其買取ノ知ル能ハズト當嶺東時ハ無前米價
 騰貴ニシテ騰差、買取ノ買取ノ困窮ト相聞
 ス今ヤ其飛語流説、買取行ニナルトナクンバキ
 甚
 ○我が行商者ノ増加
 前日買取物ノ時期、連日我行同者ノ徴シク
 増加シ江景江中地走船、繫糸有スルモノ、中五
 隻、ハニキ、白ヲ橋頭、ハニキ、同ナル韓船
 橋中ニ交互岐立スル一、一、觀ヲモセリ
 ○擔担(ヤチヤチ) 朝鮮人足ハ向處モユレ少
 々立見、惡方ナレド亦從價ニモ、割合ニ少ナカラ
 ガル、當地ノ擔担、往石何ヲ担緑アリシトカニ
 テ日未一種ノ優格、受テ居リ、結果今ハ頑
 然、對スル、買取物、錢、買取、性々
 小傷、買取、未タス、致テ珍レカラ、其全、教育

忠清道

江原 四百六十五 鴻山 四百七十五

慶尚 四百六十五 保寧 四百七十五

慶山 四百六十五 禮山 四百七十五

蔚山 四百六十五 大邱 四百七十五

全羅 四百六十五 光州 四百七十五

忠清 四百六十五 京畿 四百七十五

江華 四百六十五 海州 四百七十五

咸興 四百六十五 南浦 四百七十五

元山 四百六十五 南浦 四百七十五

南浦 四百六十五 咸興 四百七十五

元山 四百六十五 南浦 四百七十五

南浦 四百六十五 咸興 四百七十五

元山 四百六十五 南浦 四百七十五

南浦 四百六十五 咸興 四百七十五

元山 四百六十五 南浦 四百七十五

南浦 四百六十五 咸興 四百七十五

元山 四百六十五 南浦 四百七十五

南浦 四百六十五 咸興 四百七十五

元山 四百六十五 南浦 四百七十五

南浦 四百六十五 咸興 四百七十五

元山 四百六十五 南浦 四百七十五

南浦 四百六十五 咸興 四百七十五

元山 四百六十五 南浦 四百七十五

南浦 四百六十五 咸興 四百七十五

元山 四百六十五 南浦 四百七十五

南浦 四百六十五 咸興 四百七十五

元山 四百六十五 南浦 四百七十五

南浦 四百六十五 咸興 四百七十五

元山 四百六十五 南浦 四百七十五

南浦 四百六十五 咸興 四百七十五

元山 四百六十五 南浦 四百七十五

南浦 四百六十五 咸興 四百七十五

元山 四百六十五 南浦 四百七十五

南浦 四百六十五 咸興 四百七十五

元山 四百六十五 南浦 四百七十五

南浦 四百六十五 咸興 四百七十五

元山 四百六十五 南浦 四百七十五

南浦 四百六十五 咸興 四百七十五

元山 四百六十五 南浦 四百七十五

南浦 四百六十五 咸興 四百七十五

元山 四百六十五 南浦 四百七十五

南浦 四百六十五 咸興 四百七十五

光武元年十月二十四日

因譯郎守徐相直捷

我祿衛旅行憑意章亦亦示之

或曰其非曉乎遂之多少

起スルヤモ難斗然リト出元

或曰其非曉乎遂之多少

起スルヤモ難斗然リト出元

或曰其非曉乎遂之多少

起スルヤモ難斗然リト出元

或曰其非曉乎遂之多少

起スルヤモ難斗然リト出元

或曰其非曉乎遂之多少

起スルヤモ難斗然リト出元

或曰其非曉乎遂之多少

起スルヤモ難斗然リト出元

或曰其非曉乎遂之多少

起スルヤモ難斗然リト出元

或曰其非曉乎遂之多少

起スルヤモ難斗然リト出元

或曰其非曉乎遂之多少

起スルヤモ難斗然リト出元

或曰其非曉乎遂之多少

起スルヤモ難斗然リト出元

之ヲ本省ニ運送スルノ手段ヲ執ルモノニテ若シ
已商人ノ度支部ニ爲テ運送スルモノアルハ
張生不流通ノ銀貨ハ付ケテ爲メ
着々惹起セシメ漸ク有ル由今此ノ商稅
ヲ實行スルハ鹽稅威權等ニテ其他地方
モ亦々行ハルハ彼等洋吏ノ行爲ハナル
トナカシク我破商人ノ向接ニ蒙ル損害巨
大ニ數イカラス

△黃山事情續報

飲料水 江量ト僅カニ昔水ヲ降ルルニシテ
モ飲料水ヲ吸用ス其他臭濁透性ヲ一掃スル神
心爲メニ爽快ヲ覺テ加フルニ其量大ニテ何
ナル早敷ニモ圓ルノ邊ナシトモ
又ニ市場割合ニ應ジ其數少ク性素朴
ヲ獨ラテ觀使自由ナリ
新炭 近村各部落ヨリ輸入スル量
道路 村内ハ江景ニ比シ稍優ルル觀ルルモ村
外ハ降雨アル毎ニ必ズ泥濘ト化シ其最難
ニテ所ハ膠ヲ設スルニ至ル 村中江景ト交通
スルニ至リ如キハ其ニ比シ村ノ大要道ニハ係
ル所ハ朝ノキニ際スレバ河水汎濫横溢シテ水
キ所ハ腿ニ及テ而シテ干潮右ノ路上ノ泥濘

ハ其汎濫前ニ倍蓰スルアリ故ニ每月二回ノ
大潮期ハ交通日取モ不便ナリ
船舶 碇碇 此地ハ長浦江幹流ニ沿フ
市場タルガ故ニ海水深クシテ江景ニ入港シ
船ハ其ノ及ビ地ニ付貨物積揚サス内
船ハ常ニ此地ニ碇泊シ其盛況及テ江景優
ル極日若シ小汽船ノ長江ヨリ潮ルノ了ラバ
此地ヲ以テ碇碇トナス

△全羅道南原府報告

南原ノ人心 人心尚ニハ小等ニシテ本年四月
渡韓シ仁川ニ留ル者十有五日其後ハ全州守永氏
ノ下ニテリ首春セシガ九月下旬團員竹中氏共
南原ニ来リシ後ノ事ニシテ未ダ韓語ニモ不通
韓國ノ事ハ日モモ知ラズシテ其人心ハ
然リトモ大田各府亦スル所アリ序々此
小生等が初メテ南原ニ至リタル初五日此
日ナルヲ以テ即チ南原ヲ見ント市場ニ赴キ
此地ノ小舟等後ヨリ来リ大呼シテ曰ク後如キ
ス可シト石投スルアリ持テ打テトスルモ
アリ其後險云フ可ラズ然レハ人心ハ尚トモ
シ余等が久シク此地ニ居住シテ韓人ニ馴ルニ
ヒ且ツ韓語ヲ學ビ其功績トス

駒 駒ハ小舟ノ何日シカ其跡ヲ見ズ如何道路
路通行スルモ馬言ハルル徒ラク今ハ及テ觀
度ニ實テ其ノ爲メニ專放ヲ設ケルニ至ル因テ
是ヲ見レバ余等が韓人ノ爲メニ愛セラルハ是
ト日本人ノ歡喜スル一端ニテマデ故ニ人心ハ日
ニ隆クニ平穩ナリト云フモ不四ナカラシ

△全羅道全州報告

全州郡防穀令 米價騰貴生引ノ爲メ附近
穀ハ悉ク沿岸浦ニ輸送シ運送ノ當り地多
ク自米小賣店ノ如キハ一粒ノ米ガモナク揃テテ
ニ高價生引ノ米ハ出賣年々全ク持テテ穀
トシテ市場ニ至リテ 穀人ニハハ群ヲナシ
テ大場村ニ至リテ 向テ米穀買入者ヲ
驅逐セントスルノ合議ヲナスナド不穩ノ兆候現
レタリ 觀察使ハ之ヲ未察ニ防ガントノ意見見
テ以テ獨斷防穀令ヲ發布セリ此方防穀令ハ
單ニ全州出米ノ數ヲ補フノ目的ナレバ其區
域ハ只全州一郡ニ止マリ尚觀察使ハ多量使
ヲ馳セテ此ヲ政府ニ上申シテ何分ノ指合ヲ待テ
居リ

○防穀禁止令

防穀禁止令 去月六日當農商工部大臣ヲ監
ニ防穀令ヲ布クニ勿レトノ訓令ヲ觀察使ハ達
シテ然レハ觀察使ハ其ハ四月七日ヨリ前記
防穀令ヲ發布スルテ 昨十三日殊更其書面ヲ以テ防穀
令ニ未ダ今防穀令ノ目的タル單ニ全羅道
民ノ飢饉ヲ防クニ止リト云フ 防穀令ヲ發布
スベキ理由トシテ見ル可キモノシテ何トシハ全州府
民ノ飢饉ニ由ルハ出米ノ數ニヨリ出米ノ
數ニハ時價ノ低クシテ出米ノ數ニヨリ出米ノ
若シ全州ト大場浦ト米價ニ差ナクシテ
差ナクシテ防穀令ヲ發布セザルモ決シテ米穀
ノ流通ハ自由ナリ 京城ヨリ本浦至通
ハ電信線ハ当地マテ加設シテ來リ既一般
人民ノ電信ヲ受付ケ居リ此地以南ハ未ダ看
察入

觀察使回京信

謹復 教者備悉 華府下四ノ不農不商者居
半而一自市廛米穀不出府民感百在持

缺不得買米不勝飢餓... 鴨曆二月二十二日親察使尹昌燾又

鷄林實業團視察官永正即閣下

△三月二日開城報告

下人 難 本日九日京城在留官田鈴吉及同... 既二之ヲ買収シ二名ノ日本ハ他ノ商用ノ為ニ差...

依款シタル陽ニ... 直ニ船ヲ雇ハハ我々又訴フル必要ナシ左ノハ歸...

利スル所マニツク之ガハ... 口商況、米穀ハ白々騰貴...

口商況、米穀ハ白々騰貴... 銀貨ノ下流一時甚カカリ...

△三月三日江景報告

△三月三日江景報告... 鴨曆三月十日... 鴨曆三月十日...

鴨曆三月十日... 鴨曆三月十日...

鴨曆三月十日... 鴨曆三月十日...

明治三十年七月半輸出統計

品名	個數	價額
石	三百零八個	五百八十八圓
油	二百九十九個	九百四十四圓
金	百八十五	八百三十九圓
銀	四百四十四	四千四百圓
合計		七千九百三十五圓

明治三十年七月半輸入統計

品名	個數	價額
石	四百零八個	六百三十八圓
油	十個	十圓
金	五個	五十圓
銀	四百五十五	四千五百五十五圓
合計		五千五百九十三圓

明治三十年七月半輸入統計

品名	個數	價額
石	四百零八個	六百三十八圓
油	十個	十圓
金	五個	五十圓
銀	四百五十五	四千五百五十五圓
合計		五千五百九十三圓

明治三十年七月半輸出統計

品名	個數	價額
石	三百零八個	五百八十八圓
油	二百九十九個	九百四十四圓
金	百八十五	八百三十九圓
銀	四百四十四	四千四百圓
合計		七千九百三十五圓

明治三十年七月半輸入統計

品名	個數	價額
石	四百零八個	六百三十八圓
油	十個	十圓
金	五個	五十圓
銀	四百五十五	四千五百五十五圓
合計		五千五百九十三圓

本報告八昨自十二月半報告より所懸
 寫原稿之爲メ出版延期ニ及ベリ以段
 前米書又
 鳥林獎業團本部報課